

ATOTO

Manufacturer:Shenzhen Aotule Electronics & Technology Co.,Ltd

<https://www.myatoto.com> support@myatoto.com

3B-1204,Tiananyungu, Bantian St, Longgang District, Shenzhen, China 518000

ATOTO

ユニーク、より良い、信頼できる

F7シリーズシステム操作マニュアル

F7 SE/F7 Pro/F7 XE/F7 WE

(ユニバーサルフィットまたは車両固有)

更新された情報 (最新の取扱説明書、システムの更新、新機能など)
<https://www.myatoto.com> から入手できます。

著作権を含むすべての権利は留保されています

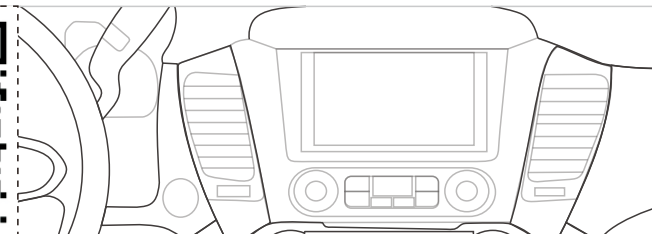


support@myatoto.com <https://www.myatoto.com>

Manuals
マニュアル
Anleitungen
Manuels
Manuali
Manuales
Manuais
Руководства



Updates
更新
Aktualisierung
Mises à jour
Aggiornamenti
Actualizaciones
Atualizações
Обновления



注意事項

- このマニュアルは、すべてのATOTO F7モデルに適用されます。このマニュアルに記載されている一部の機能は、一部のATOTO F7モデルでのみ使用できます。新たにリリースされたF7モデルには、記載されていない追加機能が含まれている場合があります。
- 特定のF7モデルに関連する、パネルの操作、配線の接続、および取り付けの詳細については、パッケージに含まれている特定のドキュメントを参照してください。
- このマニュアルに記載されているスクリーンショット画像は、現在のシステムに表示されているものとは異なる場合があります。ATOTOは、ここに記載されていない変更や新たに追加された機能を含む、新しいシステムアップデートをリリースする場合があります。
- このマニュアルの情報は不十分な場合があります。本書に記載されていないご質問やご不明な点がございましたら、ATOTO販売店にご相談ください。
- いかなる場合も、ATOTOは偶発的、間接的または結果的な損失またはその他の損失/損害に責任を負わないものとします。これらの損失/損害は利益損失、収入損失、データ損失、製品損失または関連設備の損失、および本製品関連の購買者の時間損失、または本製品ハードウェア、ソフトウェアの使用によるその他の損失を含むが、これらに限りません。

[EN]As an environmentally responsible company, we try to reduce paper consumption as much as we can. Scan the **Manuals QR code** on the cover to access our online manuals platform, where you can not only download all of our latest manuals in different languages, but also consult them more quickly by going to different sections with a finger tap. Scan the **Updates QR code** on the cover to update the system of your head unit.

[JP]環境に配慮した企業として、紙の消費量を可能な限り削減するよう努めています。表紙の**マニュアルのQRコード**をスキャンして、オンラインマニュアルプラットフォームにアクセスします。このプラットフォームでは、最新のマニュアルをすべてさまざまな言語でダウンロードできるだけでなく、指でタップしてさまざまなセクションに移動することで、より迅速に参照できます。ヘッドユニットのシステムを更新するには、表紙の**更新のQRコード**をスキャンします。

[DE]Als umweltbewusstes Unternehmen versuchen wir, den Papierverbrauch so weit wie möglich zu reduzieren. Scannen Sie den **QR-Code für Anleitungen** auf dem Cover, um auf unsere Online-Handbuchplattform zuzugreifen, auf der Sie nicht nur alle unsere neuesten Handbücher in verschiedenen Sprachen herunterladen, sondern auch schneller konsultieren können, indem Sie mit einem Fingertipp zu verschiedenen Abschnitten wechseln. Scannen Sie den **QR-Code für Updates** auf der Abdeckung, um das System Ihres Hauptgeräts zu aktualisieren.

[FR]En tant qu'entreprise respectueuse de l'environnement, nous essayons de réduire au maximum la consommation de papier. Scannez le **code QR pour Manuels** sur la couverture pour accéder à notre plate-forme de manuels en ligne, où vous pouvez non seulement télécharger tous nos derniers manuels dans différentes langues, mais aussi les consulter plus rapidement en accédant à différentes sections d'un simple toucher du doigt. Scannez le **code QR pour les mises à jour** sur la couverture pour mettre à jour le système de votre unité principale.

[IT]In quanto azienda responsabile per l'ambiente, cerchiamo di ridurre il più possibile il consumo di carta. Scansiona il **codice QR per i Manuali** sulla copertina per accedere alla nostra piattaforma di manuali online, dove non solo puoi scaricare tutti i nostri ultimi manuali in diverse lingue, ma anche consultarli più rapidamente accedendo alle diverse sezioni con un tocco del dito. Scansiona il **codice QR per Aggiornamenti** sulla copertina per aggiornare il sistema della tua unità principale.

[ES]Como empresa responsable con el medio ambiente, tratamos de reducir el consumo de papel tanto como podemos. Escanee el **código QR para Manuales** en la portada para acceder a nuestra plataforma de manuales en línea, donde no solo puede descargar todos nuestros manuales más recientes en diferentes idiomas, sino también consultarlos más rápidamente yendo a diferentes secciones con un toque de dedo. Escanee el **código QR de Actualizaciones** en la portada para actualizar el sistema de su unidad principal.

[RU]Как экологически ответственная компания, мы стараемся максимально сократить потребление бумаги. Отсканируйте **QR-код Руководства** на обложке, чтобы получить доступ к нашей онлайн-платформе руководств, где вы можете не только загрузить все наши последние руководства на разных языках, но и быстрее обращаться с ним, переходя к различным разделам одним касанием пальца. Отсканируйте **QR-код обновлений** на крышке, чтобы обновить систему вашего головного устройства.



コンテンツインデックス:

1. ホームメニュー -----	01
2. 電話リンク-Apple CarPlay、Android Auto、MirrorLink-----	02
2.1. Apple CarPlay -----	02
2.2. Android Auto -----	04
2.3. Autolink -----	06
3. ラジオ -----	07
4. ブルートゥース -----	09
5. USB / MicroSDメディア -----	11
6. A / V 入力-----	12
7. SXM -----	13
8. 背面カメラ & 前面カメラの接続 -----	13
9. 設定 -----	16
9.1 システム設定 -----	16
9.2 ディスプレイの設定 -----	18
9.3 オーディオとEQの設定 -----	19
9.4 ラジオ設定 -----	20
9.5 WiFi設定 -----	20
9.6 ブルートゥース設定 -----	21
9.7 カメラ設定 -----	21
10. 機能拡張 -----	21
11. 付録 (仕様) -----	22

コンテンツインデックス

1.ホームメニュー



図 01

A	ホームメニューに戻る
B	現在のディスプレイを終了するか、オーディオソースをオフにします
C	画面の明るさを調整します。利用可能な3つのレベルがあります 明るさのアイコンを長押しして画面をオフにしますが、音はミュートしません
D	電話信号とバッテリーインジケータ (Bluetooth接続)
E	Bluetooth接続ステータスインジケータ
F	システム時刻
G	日付時間
H	メディアウィジェット。 現在アクティブなオーディオソースがここに適用されます
I	主な機能オプション: Android Auto、ラジオ、モバイルメディアの再生、CarPlay
J	メニューリスト: すべてのシステムオプションがここに一覧表示されます

2. 電話リンク-Apple CarPlay、Android Auto、AutoLink

2.1. Apple CarPlay

ノート

- (1)に接続できない場合は、F7でBluetoothペアリングの記録を消去してください (パス: [設定]> [Bluetooth設定]> [記録の消去])。携帯電話のBluetoothリストか、「F7」を削除します。次に、上記の手順で再度接続を試みます。
- (2)ワイヤレスCarPlayは、iOS 9.0以上を搭載したiPhone 5以降のモデルで利用できます。
- (3)ワイヤレスAndroid Autoは、次のAndroidバージョンと互換性があります。
 - Android 11.0を搭載したすべてのスマートフォン。
 - Android 10.0を搭載したGoogleまたはSamsungのスマートフォン。
 - Android 9.0を搭載したSamsung Galaxy S8、Galaxy S8+、またはNote 8。
- (4)お使いの携帯電話がワイヤレスCarPlayまたはワイヤレスAndroid Autoをサポートしていない場合は、代わりに有線接続を使用してください。

2.1.1 Apple CarPlayがATOTOF7でどのように機能するか

Apple CarPlay機能には、最新バージョンのiOSを搭載したiPhone5以降が必要です。F7のシステムメニューには<AppleCarPlay>オプションがあり、iPhoneが特定のUSBインターフェイスを介してATOTO F7に接続すると、アイコンが点灯し、AppleCarPlay接続モードになります。

2.1.2 有線CarPlay接続

- (1). iPhoneを<PhoneLink>というラベルの付いた特定のUSBポートに接続します。このポートは、F7の背面USB1インターフェイスから接続されています。
- (2). Apple CarPlayのアイコンが点灯し、自動的にAppleCarPlayモードに入ります。通常、iPhoneの画面にもCarPlayアイコンが表示されます。
- (3). 最初の接続で、電話の画面からポップアップウィンドウが表示され、<許可>をクリックする必要があります



図 02

2.1.3 注意事項

- (1). 最初の接続の場合: iPhoneがCarPlay機能をサポートし、CarPlayアプリが制限されていないことを確認してください。CarPlay機能が制限されていない場合は、iPhoneの設定 (パス: [設定]> [一般]> [CarPlay]) に表示されます。iPhoneでCarPlay機能が制限されている場合は、いくつかの手順で有効にします。[設定]> [利用時間]> [コンテンツとプライバシーの制限]を押し、[許可されたアプリ]をタップして、<CarPlay>アプリを有効にします。または、[設定]> [一般]> [制限]からパスコードを入力し、CarPlayアプリを有効にします。
- どちらの方法が適用できるかは、電話のiOSバージョンによって異なります。
- (2). CarPlay接続には、電話機に付属の工場出荷時またはオリジナルのUSBケーブルを使用する必要があります。メーカー製以外のUSBケーブルは、黒い画面や不安定な接続などの接続の問題を引き起こす可能性があります。
- (3). F7は、CarPlayおよびAndroid Auto (CPAA) からのオーディオと、ローカルメディアアプリ (BT Music / Radio / Music / AUX) からのオーディオを相互に包括的であると見なします。つまり、同時に音を出すことができます。ラジオを聴いたり、USBフラッシュドライブから音楽を再生したりしながら、CPAAのマップを使用できます。独立したナビゲーションの音量とGoogleアシスタントの音量の設定については、セクション9.3.2を参照してください。つまり、CPとAAのナビゲーションAPPとメディアAPPは同時に実行できます。

2.1.4ワイヤレス CarPlay 接続(ワイヤレス CarPlay は特定の F7 モデルでのみ利用可能です。)

ステップ 1: iPhone と F7カーステレオで Bluetooth Wi-Fi を有効にします。
注: iPhone と F7 が他の Wi-Fi ホットスポットや Bluetooth に接続されていないことを確認し、車が駐車場 (P) にあることを確認してください。

ステップ 2: アイコンをタップします。F7 画面の上部で、F7 画面の 2 つのプロンプト(図 2-1、図 2-2)を許可します。

ステップ 3: iPhone から Bluetooth を開き、「F7」をクリックしてペアリングします(図 02-3)

ステップ 4: iPhone と F7 画面のすべての連続プロンプトを許可して、セットアップを完了します。(図 02-4、図 02-5、図 02-6、図 02-7、図 02-8)

ステップ 5: これで接続は完了です。F7 は自動的にワイヤレス CarPlay モードに入ります。

カーステレオが CarPlay を起動しない場合は、携帯電話の Bluetooth と Wi-Fi の両方が F7 XE に接続されているかどうかを確認し、F7 の CarPlay アイコンが灰色(オフ)ではなく強調表示(オン)されているかどうかを確認します。タップ後の画面(図 02-9)

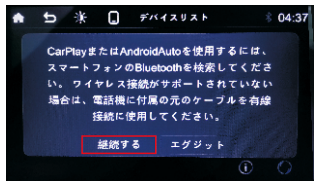


図02-1



図02-2

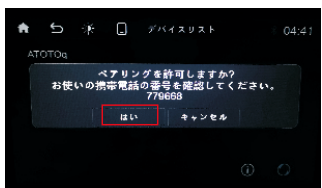


図02-4



図02-5



図02-7



図02-9



図02-6



図02-8

図02-3

2.2. Android Auto

2.2.1 F7での動作

Android Autoは、Android 6.0 (Lollipop) 以降を実行しているAndroidスマートフォンと互換性があります。Android Autoはすべてのデバイスで利用できるとは限りません。

F7で使用する前に、Androidスマートフォンに<Android Auto>アプリをインストールする必要があります。F7にはAndroid Autoオプションもあり、互換性のあるAndroidスマートフォンが接続すると、アイコンが点灯し、F7画面でAndroid Autoが実行されます。

2.2.2 有線<Android Auto>接続

<1>. Androidフォンを<PhoneLink>というラベルの付いた特定のUSBポートに接続します。このポートは、F7の背面USB1インターフェイスから接続されています。

<2>. F7のAndroid Autoのアイコンが点灯し、自動的にAndroid Auto モードに入ります。通常、スマートフォンの画面にAndroid Autoのアイコンが表示されます。

<3>. 最初の接続では、F7の画面が黒くなり、電話の画面からポップアップウィンドウ(図3を参照)が表示されます。設定を完了するには、これらすべてのリクエストに対して<継続する>または<許可する>をクリックする必要があります。そうすると、Android AutoがF7で実行されます。

<4> Android Autoが接続されると、スマートフォンのBluetoothが自動的にオンになります。F7にポップアップウィンドウ< Bluetooth接続がAndroidAutoに使用されるようになりました>も表示されます。



図 03

2.2.3 注意事項

(1). Android Autoアプリが携帯電話にインストールされ、携帯電話の「Android Autoアプリ」に対するすべての権限が有効になっている必要があります (設定> [アプリ]> [Android Auto]> [権限])。<Android Auto>、<Google>、<Google Play Service>、<Google Play Store>のAPPバージョンは最新のものである必要があります。そうでない場合、不明な問題が発生する可能性があります。

(2).ユーザーは、Android Auto接続用の電話に付属の工場出荷時またはオリジナルのUSBケーブルを使用する必要があります。メーカー製以外のUSBケーブルは、黒い画面や不安定な接続などの接続の問題を引き起こす可能性があります。

(3). スマートフォンに<Android Autoに関するプロンプトが表示された場合、応答が停止しました。 続行するには、電話機をUSBケーブルから抜き、再度接続します>。これは、最初の接続ですべての設定が完了していないことを意味します。スマートフォンのAndroid Autoアプリのデータとキャッシュをクリアしてから、スマートフォンを再接続し、スマートフォンの指示に従って権限設定を再度完了する必要があります。

(4). F7は、CarPlayおよびAndroid Auto (CPAA) からのオーディオと、ローカルメディアアプリ (BT Music / Radio / Music / AUX) からのオーディオを相互に包括的であると見なします。つまり、同時に音を出すことができます。ラジオを聴いたり、USBフラッシュドライブから音楽を再生したりしながら、CPAAのマップを使用できます。独立したナビゲーションの音量とGoogleアシスタントの音量の設定については、セクション9.3.2を参照してください。つまり、CPとAAのナビゲーションAPPとメディアAPPは同時に実行できます。

2.2.4 Android Auto ワイヤレス接続 (ワイヤレス Android Auto は、特定の F7 モデルでのみ利用できます。)使用する前に、次のことを確認してください

a).お使いの携帯電話はワイヤレスAndroid Autoをサポートしています(携帯電話で初めてワイヤレスAndroid Autoを使用する場合は、ワイヤレスAndroid Auto オプションまたはワイヤレスプロジェクションオプションがオンになっていることを確認してください)。

b). F7 XE の有線 Android Auto を携帯電話で使用できます。

ステップ 1: Android フォンと F7カー ステレオで Bluetooth と Wi-Fi を有効にします。

注: 携帯電話と F7 が他の Wi-Fi ホットスポットや Bluetooth に接続されていないことを確認し、車が駐車場 (P) にあることを確認してください。


注: 携帯電話と F7 が他の Wi-Fi ホットスポットや Bluetooth に接続されていないことを確認し、車が駐車場 (P) にあることを確認してください。

ステップ 2: アイコンをタップします  F7 画面の上部で、F7 画面の 2 つのプロンプト (図03-1,図03-2) を許可します。

ステップ 3: 携帯電話から Bluetooth を開き、[F7] をクリックしてペアリングします (図03-3)

ステップ 4: 電話と F7 画面のすべての連続プロンプトを許可して、セットアップを完了します (図03-4,図03-5,図03-6,図03-7,図03-8)

ステップ 5: これで接続は完了です。F7 は自動的にワイヤレス Android Auto モードに入ります。

カーステレオが Android Auto を起動しない場合は、携帯電話の Bluetooth と Wi-Fi の両方が F7 XE に接続されているかどうかを確認し、Android Auto アイコンが灰色 (オフ) ではなく強調表示 (オン) されているかどうかを確認します。タップ後の F7 の画面  (図03-9)

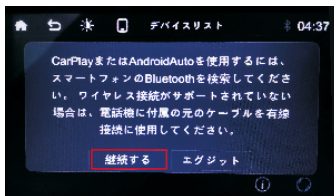


図03-1



図03-2



図03-3

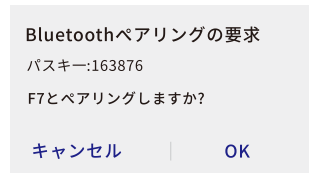


図03-5



図03-7

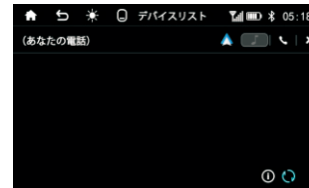


図03-9

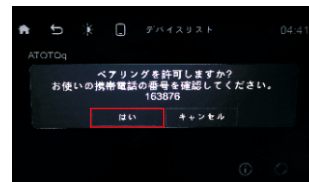


図03-4

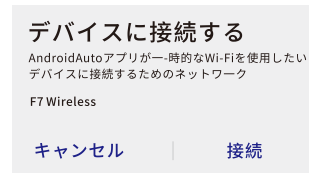


図03-6



図03-8

2.3. AutoLink

2.3.1 F7での動作

Androidフォンの場合: F7で使用する前に、Google Playストア (図04を参照) から入手できる<AutoLink>アプリをAndroidスマートフォンにインストールする必要があります。



図 04

操作手順は以下のとおりです:

- (1). <PhoneLink>というラベルの付いた指定のUSBポートに電話を接続します。
- (2). F7の<AndroidAuto>と<AutoLink>のアイコンが点灯し、最初に自動的にAndroidAutoモードになります。
- (3). Android Autoを終了し、<AutoLink>アイコンをクリックしてAutoLinkオプションを実行します。
- (4). F7がAutoLinkが電話にインストールされていないことを検出すると、電話はアプリを手動でダウンロードしてインストールするように求めるプロンプトを表示します (図05を参照).その後 (アプリのインストールと配線接続)、確認のために電話画面からポップアップウィンドウ (図05-1を参照) も表示され、<許可>をクリックする必要があります。

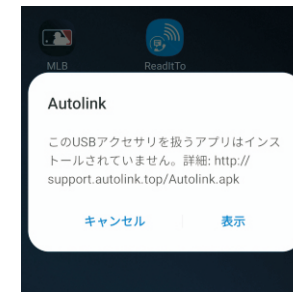


図 05



図 05-1

iPhoneの場合: 接続に追加のアプリは必要ありません。操作手順は次のとおりです:

- (1). <PhoneLink>というラベルの付いた指定のUSBポートに電話を接続します。
 - (2). F7の<AppleCarPlay>と<AutoLink>のアイコンが点灯し、最初に自動的にAppleCarPlayモードになります。
 - (3). CarPlayを終了し、<AutoLink>アイコンをクリックしてAutoLinkオプションを実行します。
 - (4). 同時に、電話の画面からポップアップウィンドウ (図06を参照) が表示され、<信頼>をクリックする必要があります。
- また、iPhoneにポップアップウィンドウ (図06-1を参照) が表示され、デバイスのパスコードを入力するように求められる場合があります。この場合、iPhoneの画面ロックパスワードを入力してください)。



図 06

2.3.2 注意事項

- (1).AutoLink機能を使用するには、まず電話でCarPlayまたはAndroidAuto機能をサポートする必要があります。これら2つの機能をサポートしていない電話はAutoLinkを使用できません。
- (2).一部のF7カーステレオは、Androidフォンのフォンミラーリングのみをサポートする場合があります。
- (3).AutoLink接続には、電話機に付属の工場出荷時またはオリジナルのUSBケーブルを使用する必要があります。メーカー製以外のUSBケーブルは、接続不良や不安定な接続などの接続問題を引き起こす可能性があります。
- (4).電話のBluetoothがF7に接続されていることを確認してください。そうでない場合は、電話でマルチメディアを再生するときにF7側から音声が出力されません。
- (5).AutoLinkは携帯電話の表示コンテンツをキャプチャし、同時にF7の画面に表示します。お使いの携帯電話に曲面スクリーンディスプレイが付属している場合(図07)、F7にミラーリングされたディスプレイはフルスクリーンではありません(図08)。



図 07



図 08

- (6).AndroidフォンへのAutoLinkのインストールで問題が発生した場合は、ATOTOカスタマーサポートに連絡してダウンロードリンクをリクエストしてください。
- (7).電話メーカーが新しいシステムファームウェアをリリースする可能性があり、AutoLinkアプリが新しい電話ファームウェアで正しく動作しない可能性があります。電話の更新後に接続の問題が発生した場合は、Google PlayストアからAutoLinkアプリを更新するか、ATOTOカスタマーサポートチームに解決策を問い合わせてください。

3.ラジオ

3.1. 各オプションの仕組み

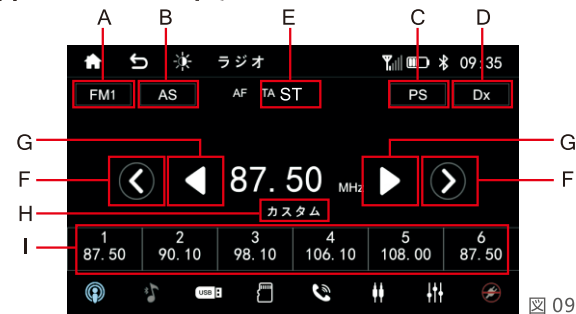


図 09

A	FM1 をタッチしてFMとAMのステーションリスト (FM1、FM2、FM3、AM1、AM2) を切り替えます;
B	AS をタッチして、ステーションを自動スキャンして保存します;
C	Ps (プレスキャン検索)。プレスキャン検索をタッチすると、スキャンされた各ステーションが3秒間再生され、もう一度タッチして停止します;
D	Dx/ローカルスイッチ。LOCはlocalの略語です。このオプションを有効にすると、特にローカル周波数の処理が可能になります;
E	ST アイコンが表示されている場合は、ステレオステーションであることを意味します;
F	◀ または ▶ をタッチして、適切なステーションを前方または後方に検索します;
G	◀ または ▶ をタッチして、最も近い周波数に前後にジャンプします;
H	この場所には、システムが適用している現在のEQモードが表示されます
I	プリセットステーションリスト。18のプリセットFMラジオ局と12のプリセットAMラジオ局があります。すべては最初に最初の周波数番号で埋められます。<AS>をクリックすると、新しく受信したラジオ局がこのリストのこれらのデフォルトの周波数番号に置き換わります。

3.2. ラジオ設定

3.2.1. 地域を選択.

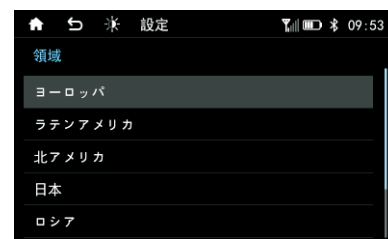


図 10

選択可能な地域は、ヨーロッパ、ラテンアメリカ、北アメリカ、日本、ロシア、オーストラリア、中国です。

エリアが異なれば、無線周波数範囲とスキャンステップも異なる場合があります。間違ったラジオエリアを選択すると、ラジオ局の受信が少なくなる可能性があるため、場所に基づいて正しい地域を選択してください。

以下の表に従って正しいものを選択してください:

範囲	FM 範囲(MHz)	AM 範囲(kHz)	FM ステップ(MHz)	AM ステップ(kHz)
北アメリカ	87.5~ 107.9	530~ 1710	0.2	10
ラテンアメリカ	87.5~ 108	530~ 1710	0.1	10
ヨーロッパ	87.5~ 108	522~ 1620	0.05	9
ロシア	65~ 108	522~ 1620	0.03	9
日本	76~ 99	522~ 1629	0.1	9
オーストラリア	87.5~ 108	522~ 1710	0.1	9
中国	87.5~ 108	531~ 1629	0.1	9

注：このデバイスを出荷時の設定に戻すと、<ラジオエリア>もデフォルトのオプションに戻ります。

お住まいの地域がデフォルトの地域オプションと異なる場合は、手動で選択することを忘れないでください。そうしないと、正しく機能しない可能性があります。

3.2.2. <RDS>スイッチ.



図 11

<RDS>は、Radio Data Systemの略語です。米国では、RBDSと呼ばれています。

この機能をオンにした後、必要に応じて<AF>、<TA>、または<時間&同期>機能をオンにすることもできます。

<AF>スイッチ。

<AF>代替周波数の略語。これは、最初の信号が弱くなりすぎた場合(たとえば、範囲外に移動した場合)に、F7が同じステーションを提供する別の周波数に再調整できるようにするオプションです。

<TA>スイッチ。

<TA>はTraffic Announcementの略語です。これは、Radio Data Systemでの特定のタイプのトラフィックレポートのブロードキャストを指します。

<時間&同期>スイッチ。

RDSを搭載した放送局は、1分に1回時刻と日付の同期信号を放送します。

通知:

RDSのサブオプション (<時間&同期>、<AF>、<TA>) は、すべてのエリアで使用できるわけではありません。詳細については、以下の表を参照してください。


	ヨーロッパ	ラテンアメリカ	北アメリカ	日本	ロシア	オーストラリア
RDS	√	×	×	×	√	√
RBDS	×	√	√	×	×	×
時間&同期	√	√	√	×	√	×
AF	√	×	×	×	√	×
TA	√	×	×	×	√	×

3.3. 注意事項

(1) 特定の地域でRDSステーションが提供する時刻が正しくない場合があります。したがって、RDSによって更新されたシステム時刻が不正確であることがわかった場合は、このオプションをオフにしてください。

(2) ラジオインターフェースに「TPシーク」と表示され、お気に入りのステーションを聴いているときに別のステーションにスキップする場合は、TPオプションをオンにしたことを意味します。TP (Traffic Programme) は、ユーザーが定期的に交通情報を放送しているステーションのみを見つけることができるようにするために使用されます。この機能が不要な場合は、TAオプションをオフにしてください。

(3) F7には、その地域のラジオ局がRDS信号を送信することを条件に、RDS (Radio Data System) 機能が搭載されています。RDS信号のない地域では、FM / AMが自動的に利用可能になります。

(4) <ラジオ>オプションは、4つの独立したオーディオソース (<ラジオ>、<BT音楽>、<A / V In>、<SXM>) の1つとして使用されます。F7をオンにするたびに、デフォルトのオーディオソースから自動的に再生されます。起動するたびに無線を実行したくない場合は、 をクリックして終了します。

4. ブルトゥース

4.1. Bluetooth設定



図 12



図 13

<接続>スイッチ: 有効にすると、F7のBluetoothがオンになります。

<自動応答>スイッチ: 有効にすると、ユーザーからの操作がない場合、着信は3秒以内に自動的に応答されます。

<ペアリング>: このオプションをクリックすると、F7がペアリングモードになり、電話機はF7のBluetoothを検出または検出できます。

<レコードをクリア>: F7からBluetoothデバイスのレコードをクリアします。

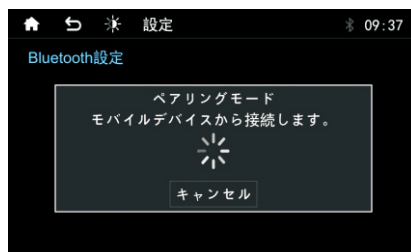


図 14

<BTペアリングデバイスリスト>: F7とペアリングされたすべての携帯電話デバイスがリストに表示されます。

4.2. Bluetooth接続

手順は次のとおりです。

- (1) <BT音楽>を開くか、F7で<Bluetooth設定>に入ります。
- (2) <接続>オプションを有効にし、<ペアリング>をクリックすると、F7の右上隅にあるBluetoothアイコンが点滅します。
- (3) 電話機でBluetoothを有効にすると、<F7>という名前のBluetoothデバイスが<使用可能なデバイス>リストに表示されます。
- (4) <F7>をクリックしてBluetooth接続を構築します。確認のために両端にプロンプトが表示されます。正常に接続されると、F7画面の右上隅にあるBluetoothアイコンも点灯します。



図 15








4.3. Bluetoothハンズフリー



図 16



図 17

	手動で電話をかけるためのダイヤルパッド。
	クリックして通話を開始
	最後の番号を削除します
	電話の連絡先。
	電話の通話履歴がここに表示されます。
	それをクリックして、Bluetoothオーディオストリーミングオプションに入ります。
	Bluetoothオーディオリモートコントロールボタン (AVRCP)

4.4. 予防

- (1) F7のBluetoothが見つからない場合は、設定の<接続>オプションを無効にして、再度オンにしてください。
- (2) 電話機がBluetoothオプションを介してF7に初めて接続するとき、このアイコンをクリックすると、F7は電話機の連絡先の同期の要求を送信します。電話機とF7のすべてのプロンプトで<YES>を選択する必要があります。



図 18

(3) 電話の連絡先の変更をF7に同期させるには、両側からレコードをクリアし（電話側から<ペアリング解除>をクリックし、F7のBluetooth設定から<レコードをクリア>をクリック）、ビルドする必要があります。再び接続。

5. モバイルメディアの再生 (USB / MicroSD)

5.1. デバイス要件

MicroSDストレージ: 最大512GB。USBフラッシュドライブ: 最大2TB
互換性のあるファイルシステム: FAT32 / NTFS。exFATはサポートされていません

5.2. 各ボタン/アイコンアプリの仕組み



図 19

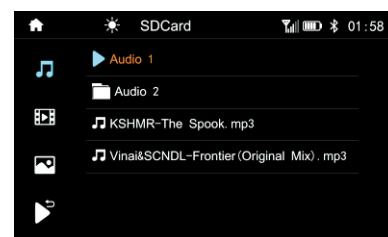


図 20

	短く押すと前のトラックにスキップします。
	一時停止/再生ボタン。
	短く押すと次のトラックにスキップします。
	これを押して、[すべて繰り返す]、[1つ繰り返す]、または[ディレクトリを繰り返す]から選択します。
	これを押して、<ランダム再生>と<順番に再生>のどちらかを選択します。
	Pそれを押すと、外部ストレージデバイス (USB / マイクロSD) から利用可能なファイルが表示されます。
	オーディオ形式でフィルタリングされたファイルまたはフォルダ
	ビデオ形式でフィルタリングされたファイルまたはフォルダ
	画像形式でフィルタリングされたファイルまたはフォルダ
	<NowPlay>メニューに戻ります。
	輝度 画像の明るさを調整します。
	コントラスト 画像のコントラストを調整します。
	色 画像の色を調整します。
	画像を反時計回りに90度回転させます。

注意:

- (1) F7にUSBストレージとMicro-SDストレージデバイスを同時に挿入すると、メディアプレーヤーは最後のものから自動再生されます。<メニュー>から手動でもう一方に切り替えることができます。
- (2) メディアファイルがフォルダーに整理されていて、他のフォルダー内のファイルを参照および再生する必要がある場合は、クリックしてデバイスで使用可能なすべてのフォルダーを参照し、スクロールして目的のフォルダーを選択する必要があります。
- (3) このオプションのオーディオ再生にはメモリー機能があり、前回残したところから再生できます。外部ストレージ内のすべての最新の音楽ファイルをプレイリストに追加するために、プラグイン後は毎回デバイスが自動的にスキャンされます。
- (4) USBまたはMicroSDを使用してシステムファームウェアを更新する場合は、続行する前に<FAT32>としてフォーマットしてください。そうしないと、更新プロセスが失敗する可能性があります。

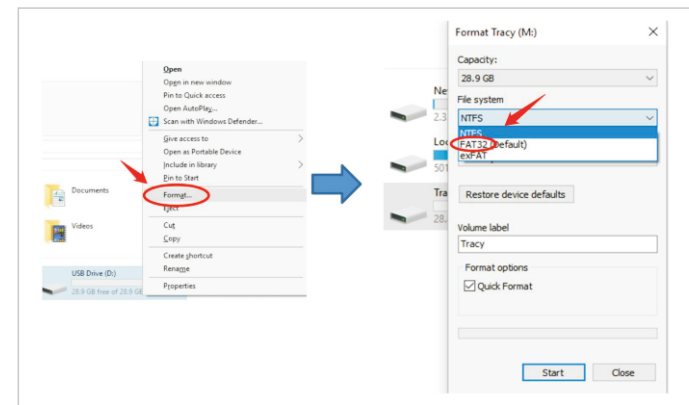


図 21

6. A/V入力

6.1. オーディオ/ビデオ入力

F7の背面からA/V入力接続用の3つのRCAジャックがあります。つはビデオ入力用 (<VIN>のラベル)、他の2つはオーディオ入力用 (<LIN> & <RIN>のラベル) です。

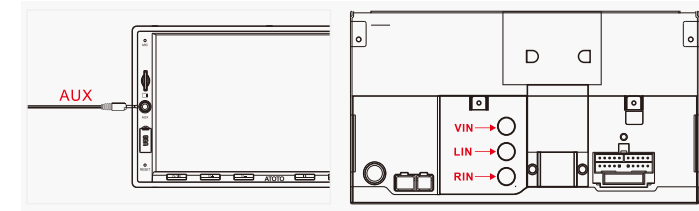


図 22

一部のF7モデルでは、操作パネルに<AUX>ジャックもあります。これは背面の<LIN> & <RIN>に相当し、3.5mmオーディオ入力のみを受け入れます。接続すると、バックエンドからの2つが切断されます。

6.2. 仕組み

RCAジャックでオーディオまたはビデオ（または両方）信号を出力できるデバイスに接続します。このオーディオまたはビデオ（または両方）を再生するためのアプリケーションは、<メニュー>の<AUX>オプションです。AUXケーブル接続の詳細については、パッケージ内の<パネル操作/ポート接続およびインストール手順>という名前の別のユーザーマニュアルを参照してください。AUXビデオ再生は、車両が動いていないときのみ機能します。電源ケーブルからの<パーキングブレーキ>ワイヤーが正しく接続されているかどうかを確認するか、<ビデオ禁止スイッチ>オプションを無効にする必要があります。

7. Sirius XM / Dab +チューナー接続

7.1. シリウスSXM接続

7.1.1.要件

(1) Sirius SXMサービスは、北米（米国およびカナダ）でのみ利用できます。他のマーケットプレイスのF7にはこのオプションがありません。

(2) このオプションは、一部のF7モデルでのみ使用可能であり、SiriusXM車両チューナー（つまり、SiriusXM SXV300AZV1衛星ラジオチューナーキット、パッケージには含まれていません）とサブスクリプションが必要です。



図 23

7.1.2.SXM操作ガイド

SXMの操作については、<SXM操作マニュアル>を参照してください。

7.2. Dab +チューナー接続

7.2.1.要件

(1) Dab +ラジオサービスは、ヨーロッパ地域でのみ利用できます。ヨーロッパ以外の市場向けのF7には、このオプションはありません。

(2) このオプションは、一部のF7モデルでのみ使用でき、追加のDab +チューナーが必要です。

7.2.2. Dab +操作ガイド

Dab +の操作について詳しくは、<Dab +操作マニュアル>という名前の別のユーザーマニュアルを参照してください。

8. 背面カメラ & 前面カメラの接続

8.1. 背面カメラ接続

8.1.1カメラの互換性要件

互換性のあるカメラのリストは次のとおりです。

(1) ATOTO AC-HD02LR 720P（アナログHD信号）リアビューカメラ。この製品モデルはLRV（ライブリアビュー）機能をサポートしており、車両が後進ギアになっていないときに、ユーザーは<リアカメラ>オプションを介してリアビュービデオを見ることができます。

(2) ATOTO AC-4486 / AC-0587N（CVBS）リアビューカメラ。

(3) 標準のRCAプラグ、CVBSビデオ信号出力、および専用の反転信号線が付属するアフターマーケットリアビューカメラ。

(4) 標準のRCAプラグ、CVBSビデオ信号出力、およびヘッドユニットに接続するための専用の反転信号線を提供できる車両の工場出荷時のリアビューカメラ。

8.1.2背面カメラの配線接続の2つの方法

8.1.2.1一般的/通常の配線方法：車両を後進ギアに入れた場合のみ、画面に背面カメラの画像が表示されます。この方法は、8.1.1の（2）、（3）、（4）、に記載されているカメラに適用されます。

手順は次のとおりです。（1）バックアップカメラの電源線をバックアップライトに接続します。（2）バックアップカメラのRCAケーブルをF7背面のRCINポートに接続します。（3）バックアップカメラの信号線をF7の電源ハーネスの<背面カメラ+>線に接続します。詳しくは図24をご覧ください。

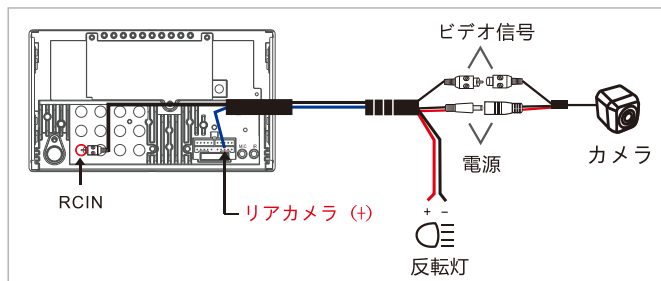


図 24（シャーシのレイアウトはモデルによって異なります。）

8.1.2.2 この方法は、8.1.1の（1）に記載されているカメラへの接続に適用できます。

この配線方法を適用すると、車両を後進ギアに入れたときに画面に背面カメラの画像が表示されます。また、車両が後進ギア（別名ライブリアビュー、LRV）になっていない場合でも、<リアカメラ>を通してリアビューを見ることができます。配線接続の詳細については、図25を参照してください。

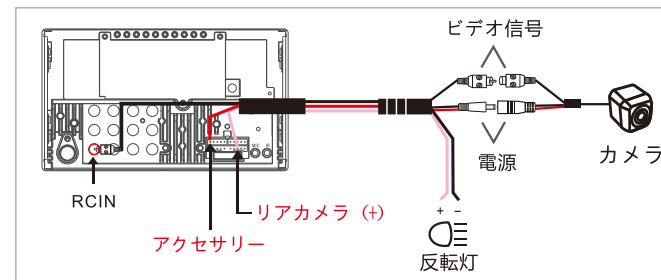


図 25（シャーシのレイアウトはモデルによって異なります。）

LRV機能を通常の/通常のリアカメラ（8.1.1の（2）、（3）、および（4）で説明）で機能させる場合は、配線接続にいくつかの変更を加える必要があります。

- (1) カメラの電源コードの正極を、反転灯の代わりにF7のACCワイヤーに接続します。カメラのアース線は、引き続き反転ライトに接続できます。
- (2) アフターマーケットの背面カメラの電源線が距離接続に十分な長さではないため、ユーザーは追加のリード線を追加する必要がある場合があります。
- (3) 「背面カメラ+」（F7電源ハーネスの1つのピン）とバックアップライトのプラス電源線の間に延長線を追加します。カメラの元の電源線がF7の<アクセサリ/イグニッション>線に再ルーティングされたためです。詳細については、図26を参照してください。

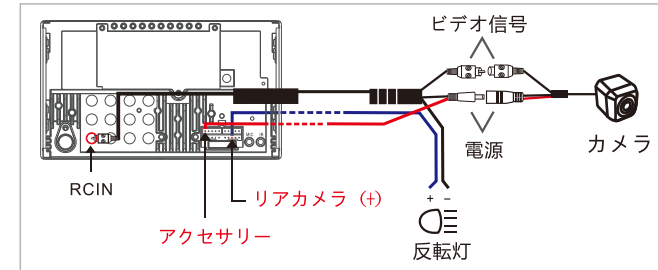


図 26（シャーシのレイアウトはモデルによって異なります。）

8.1.3注:

(1) F7に接続するためのリアビューカメラには、接続を介して反転光の状態をF7に通知する反転信号線が必要です。これがないと、F7はいつ切り替えるかわからず、車両が後進ギアになっている場合でもリアビュービデオディスプレイは表示されません。

(2) 一部のファクトリーカメラのビデオ出力信号はCVBSタイプではないが、そのビデオ出力インターフェースはRCAタイプではありません。この場合、インストールを完了するには、特定の配線コンバーターまたはビデオ信号コンバーターが必要です。

(3) LRV機能の使用中にリアビューにすばやくアクセスするために、システム設定のショートカットとしてステアリングホイールの1つのキー（該当する場合）を設定できます（ステアリングホイールコントロール選択>キー設定）。これは、ストリーミングバックミラーとして機能し、運転の安全性を高める可能性があります。一部のF7モデルでのみ使用できます。

(4) リアビューカメラは別売りです。

8.2. 前面カメラの接続

8.2.1. F7での動作

このオプションは、選択したF7モデルでのみ使用できます。F7には、<FCAM>というラベルの付いた特定のビデオ入力と、<前面カメラ>という名前のシステムオプションがあります。ユーザーは、前方の周囲を見るために、互換性のあるカメラを車両の前部に設置する必要があります。

互換性のあるカメラのリストは次のとおりです。

- (1) ATOTO AC-HD02LF 720P (アナログHD信号) フロントビューカメラ。
- (2) アフターマーケットのリアビューカメラもフロントビューに使用できますが、カメラの電源を反転ランプからF7の<アクセサリ/イグニッション>ワイヤに変更できるように、ユーザーは延長ケーブルを追加する必要があります。

8.2.2.カメラの配線接続

前面カメラのプラスの電源線を、車のヒューズボックス内の車両のアクセサリ/イグニッション (+12v) に接続します。前面カメラのアース線を車のヒューズボックス内の車両のシャーシアース (GND) に接続します。詳しくは図27をご覧ください。

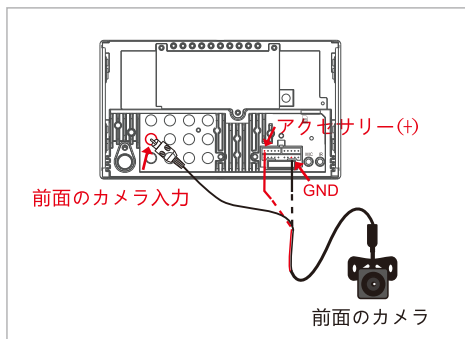


図27 (シャーシのレイアウトはモデルによって異なります。)

フロントビュー接続に通常のリアビューカメラを使用する場合:

- (1) カメラの電源コードをF7のACC&アース線に接続すると、カメラの反転ランプ検出線は無視されたままになります。
- (2) 背面カメラの電源線が距離接続に十分な長さでない場合があるため、ユーザーは追加のリード線を追加する必要がある場合があります。詳しくは水図28をご覧ください。

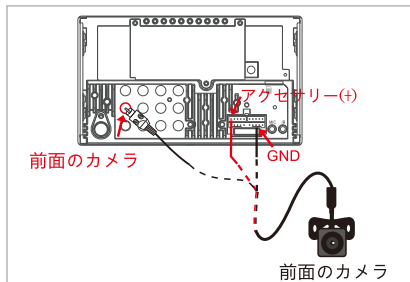


図28 (シャーシのレイアウトはモデルによって異なります。)

8.2.3. 注意

- (1) フロントビューカメラは別売りです。
- (2) このオプションは、選択したF7モデルでのみ使用できます。
- (3) 正面図にすばやくアクセスするために、システム設定 (ステアリングホイールコントロールの選択>キー設定) のショートカットとしてステアリングホイールのキー (該当する場合) を設定できます。

8.3. カメラ設定



図29

<背面カメラ入力>スイッチ: オン/オフ

<背面カメラ画像>スイッチ: ノーマルビューまたはリバースビュー。
このオプションを有効にすると、背面カメラの左右反転画像が表示されます。左右反転表示する背面カメラに適用されます。

<駐車支援ガイド>スイッチ: オン/オフ

このオプションを有効にすると、背面カメラの画像が表示されたときに画面にガイドラインが追加されます。ディスプレイにガイドラインがない背面カメラに適用されます。

<ガイドラインを調整します>

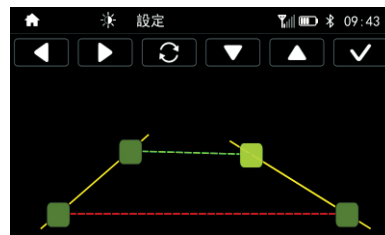


図30

◀▶ をタッチしてパーキングアシスタントガイドラインを右または左に調整し、◀▶ をタッチして上または下に調整します。✔ をタッチして設定を保存します。🔄 をタッチすると、デフォルト設定に戻ります。

<前面カメラ画像>スイッチ: ノーマルビューまたはリバースビュー。
このオプションを有効にすると、前面カメラの左右反転画像が表示されます。左右反転表示する前面カメラに適用されます。

9. 設定

9.1. システム設定

9.1.1. 言語

このメニューから利用できる8つのシステム言語があります: 英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、ロシア語、日本語、イタリア語。新しい言語は、将来のファームウェアアップデートで追加される可能性があります。

9.1.2. 日付時刻



図31

(1). ⏴と⏵をタッチして、日付、時刻、および時刻の形式(24H、AM、PM)を設定します。

(2). 手動の時間設定に加えて、F7では、RDS設定の<SXM>、<CarPlay>接続、または<同期時間>オプションを介してシステム時間を更新することもできます。

9.1.3. ビープ音: サウンドスイッチをタッチします。クリックしてこのオプションを無効または有効にします。

9.1.4. ハンドル位置

このオプションを使用すると、アップCarPlayの表示レイアウトを変更して、左側/右側のドライブ車両に適合させることができます。



図32

図33

9.1.5ステアリングホイールコントロールを選択

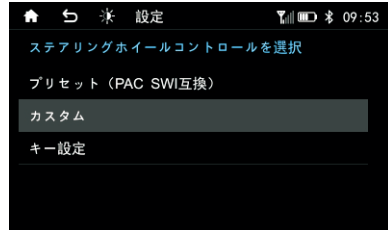


図34

(1).ステアリングホイール制御に使用できる2つのモード

プリセット: F7と車両の間でPAC SWIインターフェースを使用してステアリングホイール制御機能を保持するには、このオプションを選択し、PAC SWIの指示に従ってセットアップを完了します。PAC SWIインターフェースはサードパーティ企業によって提供されており、含まれていません。詳細については、次のリンクを参照してください:

<https://pac-audio.com/swi-guide-center/swi-guides>

カスタム: このオプションを使用すると、ステアリングホイールのコントロールキーを手動でマッピングまたはカスタマイズできます。

(2).ステアリングホイールのオーディオキーをマッピングするプロセス:

ステップ1: 指示に従います<長押しします。リストから1つを選択> (図35)、リストから1つのボタンを選択し、フレームが紫色になり、画面のテキストが変わりました: <押したまま。以下のリストから1つ選択してください> (図36)。



図35

ステップ2: 指示に従います<押したまま。ハンドルボタンと合わせる>と一致し、車のステアリングホイールのボタンを1つ選択し、F7画面のボタン全体が紫色になるまで押します (図37を参照)。これは、このボタンが正常にマッピングされたことを意味します。



図36





図37

ステップ3: 同じ操作に従って、残りのボタンの学習を完了します。

ステップ4: メニューを終了すると、設定が自動的に保存されます。

保存されているすべての設定を削除してキーを再マップする場合は、<キー設定>オプションを終了して再入力し、上記の手順1と手順2に従って再開します。

(3). 注意:

この機能を使用するには、車に工場出荷時のステアリングホイールオーディオ制御オプション (抵抗膜式アナログ信号入力に基づくSWCの略) が必要です。車両がデジタルCANBUSデータ信号を使用していて、サードパーティのサプライヤから適切なデジタルから抵抗膜へのコンバータを見つけることができる場合でも、SWC機能を保持できます。SWC関連の配線接続の詳細については、パッケージの<パネル操作/ポート接続およびインストール手順>という名前の2番目のユーザーマニュアルを参照してください。現在役に立たない2つのオプション (、) があります。それらは将来の開発のために予約されています。

9.1.6 工場出荷時設定へのリセット

この操作により、すべてのユーザー設定が消去されることに注意してください。このオプションを使用すると、システムを工場出荷時の設定に復元できます。これにより、すべての個人データと設定が削除されます。*プライバシーを保護するため、この製品を返品する必要がある場合は、返品または交換をリクエストする前に、デバイスを工場出荷時のデフォルトにリセットすることをお勧めします。

9.1.7 デバイス/システムアップデートについて



図38

ATOTO F7のリリース後、システムファームウェアを随時リリースし、最適化および改善して最高のパフォーマンスを確保します。新しいシステムファームウェアアップデートが利用可能になると、<https://www.myatoto.com> ウェブサイトの通知セクションに通知が表示され、詳細なアップデート手順が提供されます。アップグレードの可能性に関する電子メール通知を受信するには、ユーザーがユーザーアカウントを登録することをお勧めします。

9.2. ディスプレイの設定



図39



図40

9.2.1. デイライト調光レベル

デイライトモードを希望のレベルに調整します。

ナイト調光レベル: ヘッドライトがオンの場合、ナイトモードの調光レベルを調整できます。

9.2.2. パネルキー照明

パネルキーの色を琥珀色/黄色/青/緑/白/オレンジ/黒から選択します

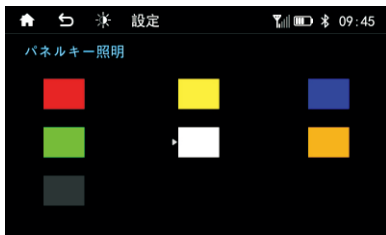


図41

9.2.3. 壁紙



図42

(1). F7の壁紙を設定する2つの方法

プリセット: 5つのプリセット壁紙があり、選択するとすぐに適用されます

手動で追加: このシステムでは、ユーザーは適格な画像をUSBフラッシュドライブに入れ、**+** をクリックしてシステムの壁紙に追加できます。MicroSDの画像は追加できません。画像の解像度は1024x600である必要があります。

9.2.4 ビデオ禁止スイッチ

(1)安全のため、運転中は動画を見ることができません。車両のハンドブレーキの状態を検出するために、F7の後ろから <パーキングブレーキ> というラベルの付いた特定のケーブルがあります (該当する場合)。正しく接続され、このオプションが有効になっている場合、車両が動いている間はビデオ再生画面 (図43) に通知が表示され、車両を駐車してハンドブレーキをかけると表示が消えます。



図43

(2)このオプションは、<AUX>、<前面カメラ>、または<モバイルメディア再生>オプションを介してビデオを再生する場合にのみ適用されます。

9.3 オーディオとEQの設定



図44



図45

(注: 特定のモデルでは、サブウーファーの設定は使用できません。)

9.3.1 EQ



図46

7つのプリセットEQサウンドエフェクトは、<スタンダード>、<R&B、ロック>、<ポップ>、<ヒップホップ>、<ジャズ>、<ダンス>です。プリセットからの手動変更は、<カスタム>に自動的に保存されます。

9.3.2 ボリューム



図47

F7を使用すると、ユーザーはさまざまなオーディオチャネルの音量を個別に調整できます。

マルチメディア	システムマルチメディア再生の音量
着信音	電話がかかってきたときの着信音の音量
ハンズフリー	ハンズフリーストリーキングの音量
ナビゲーション	CarPlayまたはAndroid Autoの音声ナビゲーションプロンプトの音量
音声アシスタント	CarPlayのSiri、またはAndroid AutoのGoogleアシスタントの音量

9.3.3. バランス/フェーダー



図48

+ または **-** をタッチするか、**+** アイコンを動かしてリスニング位置を調整します。

バランスの値: 左15-右15

フェードの値: フロント15-リア15

<リセット>をタッチして復元します。

9.3.4. サブウーファー出力

(注: 特定のモデルでは、サブウーファーの設定は使用できません。)

<サブウーファー出力>スイッチ: タッチするとサブウーファー出力のオン/オフが切り替わります。このオプションは、サブウーファーアンプを搭載した車両に適用できます。

9.3.5. サブウーファーフィルター

<サブウーファー出力>がオンの場合、サブウーファー出力からフィルタリングする必要があります (<50Hz>、<80Hz>、<120Hz>、<160Hz>、または<オフ>) を選択できます。

9.3.6. サブウーファーレベル

タッチして、サブウーファーから出力されるサブウーファーのレベルを調整します。

9.3.7. 背面図のオーディオ

このオプションをオンにすると、車が後進ギアにあるときにメディアの音量がミュートされません。オフにすると、ギアを逆にするとメディアの再生がミュートされます。

9.4. ラジオ設定。3.2章を参照してください。

9.5. Wi-Fi 設定



図 49

このWi-Fiオプションは、データ送信専用です。インターネットへのアクセスはサポートしていません。

9.5.1. Wi-Fiスイッチ

Wi-Fiスイッチがオンになっている場合、Wi-Fiオプションはデータ送信に対してアクティブになります。

9.5.2. デバイス情報

このインターフェースでデバイスのWi-Fi情報を確認してください：ネットワーク名とMACアドレス。

9.5.3. 接続ステータス

タップして現在のWi-Fi接続ステータスを確認します。

9.5.4. Password

現在のWi-Fiパスワードを表示します。

9.5.5. Password reset

タップして現在のWi-Fiパスワードをリセットします。

9.6. ブルートゥース設定。4.1章を参照してください。

9.7. カメラ設定。8.5章を参照してください。

10. 機能の拡張

多くの入力、出力、スロットを備えたF7は、さまざまな外部デバイスに接続できます。F7に接続して機能を拡張するためのこれらのアクセサリは、パッケージに含まれていません。それらは別々に提供されます。ATOTOがカスタマイズしたものもあれば、ATOTOが提供していないものもあり、ユーザーは自分でそれらを取得する必要があります。

10.1 通常のアフターマーケットリアビューカメラ、またはライブリアビュー用の特定のATOTO HDリアビューカメラ、または特定のフロントカメラに接続します。詳細については、第8章を参照してください。



図 50 (AC-4486)



図 51 (AC-HD02LR)

詳細については、第8章を参照してください。

10.2 ATOTOAC-44F5ワイヤレスステアリングホイールリモートでの作業

ハンドルオーディオコントロールのない車の場合、安全な操作のためにATOTOAC-44F5ワイヤレスリモートを強くお勧めします。接続方法：ワイヤレス（送信機）+指定3.5mmジャック（受信機）

10.3 ヘッドレストモニターに接続する

内蔵のビデオ出力機能により、ユーザーはRCAビデオ出力インターフェイスを介して最大2台のモニター（図53）をF7に接続でき、F7に表示されるものはヘッドレストモニターで同期されます。F7に接続されたヘッドレストモニターは、RCA CVBS信号ビデオ入力を受け入れる必要があります。接続方法：特定のビデオ出力 このオプションは、選択したF7モデルでのみ使用できます。

10.4 注意

上記はF7の一般的なオプションアクセサリです。これらは個別に提供されます。ATOTOによってカスタマイズされたものもあれば、ATOTOから入手できないものもあり、ユーザーは自分で入手する必要があります。



図 52 (AC-44F5)



図 53

仕様	
セクション	仕様
オペレーティング・システム	LinuxGeminiバージョン4.9.217
	QT Ver 5.6.3
SOCチップセット	LY8368
モニター	画面サイズ（インチ）：特定のF7モデルに応じて、6.2インチから10.1インチ（対角）になります。
	ディスプレイ解像度：特定のモデルに応じて、HD 1024 * 600または1280 * 720
	ディスプレイシステム：特定のモデルに応じて。TN-LCD、IPS-LCD、またはQLED（量子フィルムLEDバックライトLCDテクノロジー）の場合があります。
照明の明るさ: 450 - 600cd/m2	
ラジオ	レセプションバンド
	FM:65-108MHz, 詳細なバンド範囲は地域によって異なります。プリセットステーション: 3*6 = 18ステーション AM:522-1710KHz; 詳細なバンド範囲は地域によって異なります。プリセットステーション: 2*6 = 12ステーション
RDSデコーダー	はい
ステレオオーディオDAC	はい
ブルートゥース	Bluetoothバージョン：特定のモデルに応じて4.2または5.0
	プロトコル: HFP,HSP,A2DP,AVRCP,PBAP
	A2DPオーディオ再生のサポート: SBC, ACC
	チャンネル出力: Stereo, Mono

DSP音響学	チップセット: DSP Ak7602	
	EQバンド: スタンダード、R&B、ロック、ポップ、ヒップホップ、ジャズ、ダンス、カスタム	
	周波数: 32/63/125/250/500/1.0k/2.0k/4.0k/8.0k/16.0k (Hz) ゲイン: -6/-5/-4/-3/-2/-1/0/1/2/3/4/5/6(dB)	
サブウーファーフィルター: オフ/50Hz/80Hz/120Hz/160Hz(12dB/oct) (注: 特定のモデルでは、サブウーファーの設定は使用できません。)		
プリアンプ	電力出力	F7ベーシックモデルの場合: 4 x 45w/ 4Ω max. 4 x 25w RMS/4Ω @ 14.4V, 1 kHz, THD 10%; インピーダンス: 4-8Ω
		選択したF7モデルの場合: 4 x 49w/ 4Ω max. 4 x 29w RMS/4Ω @ 14.4V, 1 kHz, THD 10%; インピーダンス: 2-8Ω
	出力周波数帯域	20-22000Hz
メディアの再生	オーディオDAC	D/A コンバータ: 24Bit
	オーディオ/ビデオ/画像	オーディオ: MP3, M4A, FLAC, WAV, WMA ビデオ: Xvid, MPEG-4, WMV, FLV, MKV, H.264 画像: BMP, JPEG, PNG
USBインターフェース	電話リンク	USB 1 (<電話リンク>のラベルが付いている) は、CarPlay、Android Auto、およびAutoリンク（ミラーリンク）接続をサポートします
	電話充電	USB 1は、電話リンクの実行中の電話の充電をサポートしています。 プロトコルはBC1.2で、1.5Aの電流を供給できます。
	ポータブルメディア再生	USB1とUSB2の両方がメディア再生をサポートし、最大2TBのポータブルSSDデバイス（FAT32 / NTFS）を読み取ることができます

出力 & 入力	音声出力	4 x RCA 出力 (2V,4V/10kΩ): としてラベル付け <FL>/<RL>/<RL>/<RR>
	補助オーディオ入力	1 x RCAサブウーファー出力 (800mV/10kΩ) : <SUB>のラベル
		2 x RCAオーディオ入力 (左/右) (最大2V/ 25kΩ) : <LIN>/<RIN>のラベルが付いています
	補助ビデオ入力	1 x RCAビデオ入力 (1Vp-p/75Ω) : <VIN>としてラベル付け; CVBS信号とアナ ログHD信号のビデオソースの両方をサポ ートします。
	前面カメラ のビデオ入力	1 x RCAビデオ入力 (1Vp-p/75Ω) : <前面カメラ入力>のラベルが付いています。 CVBS信号とアナログHD信号のビデオソース の両方をサポートします。このオプション は、選択したF7モデルでのみ使用できます。
	リアビュー カメラ入力	1 x RCAビデオ入力 (1Vp-p/75Ω) : <RCIN>のラベルが付いています。 CVBS信 号とアナログHD信号のビデオソースの両方 をサポートします。
	ビデオ出力	2 x RCAビデオ出力 (1Vp-p/75Ω) 。として ラベル付け<ビデオ出力1> / <ビデオ出力2>
	SXM対応	SiriusXM SXV300AZV1 衛星ラジオチュー ナーキットで動作します (含まれていない)。 SXMサービスは北米でのみ利用可能です。 このオプションは、選択したF7モデルでのみ 使用できます。
SWC-IRジャック	ATOTOAC-44F5ステアリングホイールリモ コンで動作します。	
一般	動作電圧: 12vDCカーバッテリー	
	定格電流消費量: 15A; スタンバイ 電流: 10mA	
	温度範囲: : -20°C - +60°C	